



体験学習の様子

## 東通小学校4年生 村内で体験学習

7月10日と16日の2日間、東通小学校4年生が、野牛漁業協同組合、東通村営第二牧場、野牛川レストハウス、東栄の濱田農園と大利の奥島農園の計5か所において見学や体験をしました。

この体験学習は「東通科」の一環で、製品の生産や販売の様子を見学し、村における“食文化”の現状と携わる人々の思いや苦勞を知ることを目的に行われました。

野牛漁協では、ピークを迎えた外海地まきほたてを触ったり観察しながら「ホタテ漁は朝何時から働きますか」「ホタテの寿命はどのくらいですか」等と質問を沢山していました。東通村営第二牧場及び野牛川レストハウスでは、東通牛の肥育・出荷・販売の行程について関係者から説明を受け、肥育している牛を観察しました。児童は「牛のお世話で一番大変なことは何ですか」「美味しい部位はどこですか」等と質問をしたり、牛のスケッチをしたりしていました。濱田農園と奥島農園では、夏秋いちごとブルーベリーの手摘みを体験し「甘～い!」「30個も食べたよ!」と楽しい声が響き渡りました。

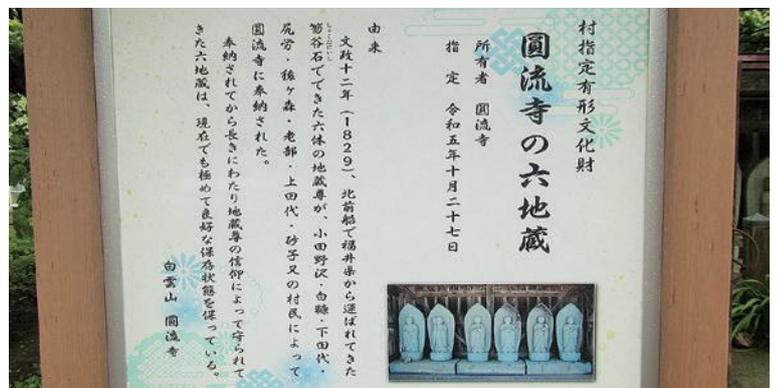
## 東通小学校5年生オンラインで交流学習

7月11日、東通小学校5年生は、都市部との交流を目的に、東京都北区立浮間小学校の5年生とオンライン交流学習を行いました。交流学習では、それぞれの地域の魅力をお互いにテレビ会議ツールを用いてオンラインで紹介し合いました。東通小の5年生は、ヒバの埋没林やブルーベリー等について、遠く離れた東京へ届くよう、大きな声で紹介しました。

なお、夏休みには、今回交流した浮間小の児童が来村するとのことで、児童らはリアルでの再会を楽しみにしている様子でした。



浮間小に向かって発表する児童たち



設置した圓流寺の看板

## 『圓流寺の六地蔵』(砂子又) 「東通村有形文化財指定記念看板」を設置

『圓流寺の六地蔵』が、昨年10月27日付で東通村有形文化財に指定されたことにより、今般6月に記念看板を設置しました。看板の設置を受け、圓流寺の松木成雄住職は「先人が苦勞して造立し、守ってこられたことに深く感謝するとともに、これからも子々孫々と守り続け、人々にその端正で柔和なお姿を伝えて参りたいと思います。皆様、当寺においでの際はゆっくりと六地蔵尊にお手を合わせてみて下さい。心がとても静かになりますよ」とコメントされました。